

子ども支援現場レポート①

ヤオコーでは、2020年9月から、埼玉県、埼玉県社会福祉協議会、アサヒロジスティクス㈱様のご協力のもと、埼玉県下の生活にお困りの子育て世帯を対象にしたお米の支援を開始し、2021年8月で丸一年経ちました。そして、この子ども支援を一時的なものではなく継続的な取り組みとするため、2021年3月に「一般財団法人 ヤオコー子ども支援財団」を設立し、2021年9月より財団でこの活動を引継ぎました。

これまで同様、毎月1回埼玉県福祉部および埼玉県社会福祉協議会のご協力のもと、埼玉県内にあるフードパントリーとこども食堂へ、お米をお届けしております。

お米の支援		配布エリア	個数	kg数	配布団体	うちフードパントリーの世帯数
第一回	2021年9月	加須	98袋	545kg	25団体	535世帯
第二回	2021年10月	狭山	141袋	626kg	11団体	0世帯
第三回	2021年11月	熊谷	145袋	756kg	17団体	214世帯
第四回	2021年12月	鶴ヶ島	127袋	528kg	13団体	170世帯

<配送現場レポート>



2021年9月 加須エリア 98袋（545キロ）

昨年は12月にお届けした加須エリア。今回は2回目とあって、皆さん慣れた手つきでお米を数えてくださいました。天候が怪しい日でしたが、雨が降る前に、運び終えました。今回は新たに、東松山市から牧師さんもお見えになっていました。毎週土曜日に、生活支援として、お米・野菜・生活用品などを教会で手渡し、ご家庭にもお届けされているようです。



2021 年 10 月 狭山エリア 141 袋 (626 ㌔)

今回の配送場所は初めてとなる「狭山さがみ典礼」様へお届けいたしました。葬儀会場の駐車場の一角を借りての荷下ろしです。狭山エリアはフードパントリーがほとんどなく、今回お米を取りに来た団体さんも、こども食堂を運営されているボランティア団体の方々でした。定年退職をされた方がボランティア登録をされており、昼間の食材をピックアップできる人手があることは、ありがたい存在とのことでした。また、地域のお米屋さんとのつながりもあるようで、低温冷蔵庫で保管してもらい、古米を5㌔ずつ精米してもらうこともあるそうです。その際は、精米代だけをお支払いし、冷蔵庫保管&配送まで対応してくださるのだとか。こうしたつながりはありがたいですね。



2021 年 12 月 鶴ヶ島エリア 127 袋 (528 ㍑)

配送予定日の朝、雨が降っていたので、荷下ろし場所がぬかるんでいないか、雨の中でお渡しすることになるのではないかと心配でしたが、幸いにもお米を荷下ろしする時間帯は晴れており、無事お渡しすることができました。このエリアは 2 回目の寄付ということもあり、皆さん手慣れた手つきで、素早く荷下ろしをされ、数を確認してくださいました。こちらには、鶴ヶ島市以外にも、川越市、日高市、東松山市など埼玉県北部にあたるフードパントリーさんやこども食堂さんのボランティアの方々が受け取りにいらしています。